



# 公益財団法人 ソーシャルサービス協会だより

2017年  
11月15日  
事務局発行  
No.16

月次決算を軌道に乗せましょう！  
**上半期の結果は-4,645千円！**

◎2017年度4月～9月予算(11/9現在)				予算との差異		
単位(千円)	収入実績	支出実績	損益実績	収入差異	支出差異	損益差異
せせらぎ	7,748	6,428	1,320	-850	-2,020	1,170
旭川	0	406	-406	-400	31	-432
青森	2,251	2,221	30	196	19	177
仙台	7,250	7,149	101	-790	-721	-69
塩釜	18,755	20,635	-1,880	-3,595	-1,185	-2,409
多摩	11,594	15,130	-3,536	-4,006	-320	-3,686
I T	23,864	24,009	-145	6,334	7,779	-1,444
京都	53,599	57,479	-3,880	-1,526	2,418	-3,949
ワーク	57,256	56,109	1,147	-6,244	-7,987	1,743
田川	5,081	5,466	-385	-1,419	-1,134	-285
福岡	724	1,290	-566	-1,456	-881	-575
宮若	1,925	1,350	575	975	495	480
都城	13,568	14,025	-457	-532	-192	-340
本部	4,806	1,369	3,437	-130	-2,814	2,684
	208,421	213,066	-4,645	-13,443	-6,512	-6,935

## 全国所長会議の開催

12月1日(金) 午後から  
12月2日(土) 午前中  
東京全日自労会館6階  
①法人中長期計画の到達  
②本年度予算方針遂行状況  
③次年度予算作成について

## <監事による監査報告>

### ◆上半期法人監査

監事 伊藤 東一  
監事 磯野 紀子

実施日 2017年11月9日  
午前10時～11時半

立会人 神田豊和理事長、濱田茂常務理事、秋山明子事務局次長

期間 2017年4月1日より  
2017年9月30日

### 監査結果

会計書類等は監査期間中の協会の会計活動の実態と期間末日の財産の状況を正しく反映していることを確認した。なお本監査は、協会が公益認定を得て4年目の上半期決算である。本部の事業所管理機能は徐々に改善されている。

### 監査意見

これまで指摘してきた問題のところは改善されてきているが、不備が認められる事業所では、引き続き会計業務に関する規則を遵守する事。公認会計士の指摘事項についてはその多くが改善されてきている。

下期に向けて、第一四半期に指摘をしたところの公認会計士の指摘事項や監事による監査での指摘事項の殆どが解決されているが、若干未解決があるものについては必ず年内に解決の道をつけること。問題は、予算との乖離が大きいことであるが、各事業所において下期に収入の確保、支出の見直しなどの努力が必要と思われる。現状では、2017年度の剰余予算達成は厳しいものがある。なんとしても4期連続の赤字決算は回避するようにあらゆる努力を惜しまずに行うこと。

以上

## 確信にしたい！

100議席は減らすのではないかとされていた自民党が、衆議院議員選挙で284議席を占めた。しかし前回291議席だったのに比して減らした。

### ここを確信にしたい。

18歳からの選挙権の初めての行使があって投票率53.68%、そのうち自民党の比例得票率は33.3%で議席占有率は61.1%だ。小選挙区制の弊害だ。ここを確信にしたい。

18～20歳代の若者の49%が「自民党に投票した」という。その深層心理は、現状への満足というよりも将来への不安であり、政治の安定を求めているのだという。現状へ満足していない、ここを確信にしたい。

今なら勝てるというただそれだけの理由で解散—大義がない！そこで北朝鮮のミサイルが「国難」として喧伝され、演出された。安倍首相の街頭演説会場では「お前が国難だ！」とヤジが飛んだ。ここを確信にしたい。

連合は公明と共産の接戦が予想された東京12区で公明支持に回り、敵に塩を送った。共産党アレルギーが何よりも優先したのだ。なにが大切なことなのかの錯綜が自民党に漁夫の利を得させた。野党が一本化していたら、63の選挙区で勝敗が逆転していた。ここを確信にしたい。

…しかし、気になる憲法「改正」の動き。憲法が為政者の権力行使に制約を加えるという「立憲主義」を理解しない安倍首相。国会で憲法の性格を問われた時に「考え方の一つとして、いわば国家権力を縛るものだという考え方もありますが、しかし、それはかつて王権が絶対的権力を持っていた時代の主流的な考え方であって」と、あたかも立憲主義が過去の遺物であるかのような解釈を披歴しているのだ。こんな人にこの国の首相をまかせられない。ここを確信にしたい。(濱田)

差異はどこで生じているか、収入予算221,864千円に対し208,421千円で、予算に-13,443千円と大幅な収入未達成。予算は前年実績並みですから達成可能。収入予算達成は、青森、I T、宮若の3事業所。他の10事業所は未達成。塩釜、多摩、ワークセンターの3事業所が予算に大きくかい離。支出は予算219,578千円に対し213,066千円で、予算に-6,512千円。しかし前年に+4,621千円。予算内の支出の事業所は7事業所。他の6事業所は超過支出。とりわけてI Tと京都の支出が大きい。下期への見通しとして、上半期で剰余予算目標に対して-6,935千円という結果。多摩が未収金計上しても-1,043千円となり予算剰余未達成。このままでは、年間剰余予算達成は大変厳しい状況。公益財団法人ソーシャルサービス協会は3期連続の赤字で推移。2017年度はなんとしても黒字決算が求められている。その為には、予定している業務を確実に確保すること。収入増につながることは確保の努力を惜しまないこと。支出はあらためて全項目見直しをして、無駄がないか点検してみることに。

## 《所長紹介》 「仙台事業所」 三浦智章 所長

私は仙台事業所で、平成16年1月(開設の2か月前)からお世話になっており、2年前から所長としても勤めさせていただいております。この間に、精神的に病んでしまったり、事故による右膝蓋骨の骨折等もあり迷惑をかけることが多かったですが、現在もこの仕事を続けていられるのは、利用様をはじめ、各事業所のスタッフ等、皆様のおかげだと感じております。介護保険サービス事業の運営は、今後さらに厳しくなっていくと思いますが、1年に数回の家族、友人とのキャンプや旅行や、事業所スタッフ、協会関係者との交流を楽しみにしながら、日々仕事に励んでおります。ちなみにビールも大好きです。今後も事業所と協会の発展のために努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ながら、日々仕事に励んでおります。ちなみにビールも大好きです。今後も事業所と協会の発展のために努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。